

くるめ学生通信

大学生が、久留米市の仕事を取材し、発信するシリーズです

54 市税のキャッシュレス納付 今回の記者：久留米大学（3年）元寄夏貴さん



税金の種類や納付方法について資料を使って説明しました

市税などの納付がキャッシュレスでできるようになったと聞きました。市税の納付方法について詳しく知りたかったので、税収納推進課の古賀義邦さんに話を聞きました。

—— 税収納推進課は主にどのようなことをしていますか

市民の皆さんから住民税や固定資産税などさまざまな税金を納めていただいています。税収納推進課は、その納税全般のサポートや税の証明書の発行を行っています。税を知ってもらうために、税担当課合同で小学校に出前授業に行くこともあります。

—— 市税の納め方を教えてください

納付書で市役所の窓口や銀行、コンビニで納める他、納付書のバーコードを読み取り、クレジットカードやスマホ決済アプリ（PayPay・LINE Pay）を利用する方法があります。場所や時間に関係なく、時間もかからず、簡単に納めることができます。昼間

将である石田三成を捕縛する功績を挙げ、その褒美に筑後国を与えられました。慶長6（1601）年、筑後一國30万石余の領主になります。久留米城は、堀が狭く守りに弱いと判断し、柳川城を居城にしました。柳川城と久留米城をつなぐ幹線道路を整備。田中道といわれ、現在の県道23号線久留米柳川線になっています。吉政は、政治や軍事に優れ、土木や治水などで積極的な領内支配政策を進めました。筑後川の最初の治水工事は、吉政が行ったと記録されています。当時の筑後川は、長門石方面に大きく蛇行していて、洪水被害の原因の一つでした。現在の瀬下を掘削してショートカットする「瀬ノ下新川開削」工事をしました。善導寺町から筑後川の水を引水し、高良山の下から三瀬郡を横切り、山門郡の塩塚川に注ぐ大運河を計画しましたが、道半ばで死去。四男の忠政が城主となりますが、36歳で病死。後継ぎもいなかったため、田中家は断絶しました。

◎文化財保護課 ☎0942・30・9225、FAX 0942・30・9714

—— 納付期限が過ぎてしまった場合はどうなりますか

定められた納期限内に納めないことを滞納といいます。滞納すると、地方税法により市役所から督促状が届きます。納付は市の窓口か金融機関だけになります。「納税お知らせセンター」を課内に設置していて、未納の人に納付期限が過ぎたことを連絡し、早期納付の案内を行うこともしています。期限を過ぎると延滞金がかかります。何回通知しても納めてもらえない場合、最後は差し押さえを行います。市税は公共サービスを行うための大切な財源です。速やかな納付をお願いします。



期限内に納める大切さを理解しました

—— 事情があっても納めることができない場合はどうしたらいいですか

支払いたくても新型コロナウイルスの影響で売り上げが減った、仕事を辞めたなどの理由で支払いができないことがあるかもしれません。事情がある場合は、悩まずに市の窓口に来てください。各種納税相談を受けています。税金について分からないことがあれば気軽に相談していただきたいです。

—— 納付にはさまざまな方法があることがわかりました。納めてもらうために、工夫をされていることも知りました。税のことを知る機会が少ないのですが、きちんと納めることが大切だと実感しました。

◎広報戦略課 ☎0942・30・9119、FAX 0942・30・9702



スマホアプリで簡単に納付できます



シリーズ 久留米入城400年モノ語り ①

元和7（1621）年、久留米藩21万石の藩主・有馬豊氏が久留米城に入城しました。来年で400年。今に残る文化財をひもときながら、有馬の歴史をシリーズで紹介します。

有馬家前の2人の領主

市役所はキリスト教会堂

本庁舎建設前、平成3年から4年に行った両替町遺跡の発掘調査で、鬼瓦やキリスト教会の柱跡が発見されました。この場所は、江戸時代に久留米城下町の中央部にあたり、「両替町」と呼ばれ、「御使者屋」という迎賓館のような役割の建物がありました。有馬豊氏の入城前、この地を治めていたのが小早川秀包です。秀包は、戦国の雄といわれた毛利元就の九男。13歳の時に実兄の小早川隆景の養子になりました。天正15（1587）年、久留米城に入城。黒田官兵衛の勧めでキリスト教に入信したのもこの頃です。キリシタン大名の秀包は、統治するこの地にキリスト教会堂を建設。教会の瓦には自分の出身である毛利家の沢瀉文（さわだふみ）を使用しました。秀包は、慶長5（1600）年の関ヶ原合戦で西軍に属し敗戦。久留米の領地も没収されました。今に継承される田中道

将である石田三成を捕縛する功績を挙げ、その褒美に筑後国を与えられました。慶長6（1601）年、筑後一國30万石余の領主になります。久留米城は、堀が狭く守りに弱いと判断し、柳川城を居城にしました。柳川城と久留米城をつなぐ幹線道路を整備。田中道といわれ、現在の県道23号線久留米柳川線になっています。吉政は、政治や軍事に優れ、土木や治水などで積極的な領内支配政策を進めました。筑後川の最初の治水工事は、吉政が行ったと記録されています。当時の筑後川は、長門石方面に大きく蛇行していて、洪水被害の原因の一つでした。現在の瀬下を掘削してショートカットする「瀬ノ下新川開削」工事をしました。善導寺町から筑後川の水を引水し、高良山の下から三瀬郡を横切り、山門郡の塩塚川に注ぐ大運河を計画しましたが、道半ばで死去。四男の忠政が城主となりますが、36歳で病死。後継ぎもいなかったため、田中家は断絶しました。

◎文化財保護課 ☎0942・30・9225、FAX 0942・30・9714



大本山善導寺の境内に田中吉政供養塔があります。久留米柳川線沿いには、吉政を祭る神社が点在しています



篠山神社境内にある小早川秀包を祭る小早川神社。石扉には十字が刻まれています



両替町遺跡から発見された沢瀉文鬼瓦（おもだかもんおにがわら）。中国地方の大名毛利家の家紋が使われています。左下の一部が欠けていますが、縦24cm、横30cm、厚さ8cmの鬼瓦です



小早川秀包が建てたキリスト教会堂の復元模型。両替町遺跡から、現在の市役所の場所に建っていたことが判明しました

詳しくはQRコード

市ホームページ「久留米入城400年モノ語り」へ

関連イベント「小早川・田中の時代」展は17ページへ